

「FIT 友の会」森林インストラクター資格取得支援講座

「森林内の野外活動」

2020年6月28日(日) 雨後曇り 長池公園

資格取得支援講座三日目「森林内の野外活動」を八王子市の長池公園で実施しました。新型コロナウイルス感染予防の為、ソーシャルディスタンスを確保しマスク着用して講座を進めました。雨の為、スケジュールを変更し、午前中は講義とネイチャークラフトの実習を行いました。

講義では「野外活動」科目の解説と過去出題された項目・キーワードについて説明がありました。受験勉強の進め方として、一問一葉の過去問題カードを作って勉強したこと、会社に早く向かい車中で集中して学習したこと、文章を書く機会が少ないので手で書く練習をしたなどの話が有りました。また、講師から受験テクニックとして、長丁場のため筆記具選びが大切。鉛筆の場合は、本数を多めに用意する。鉛筆、シャープペンの芯をB、2Bの柔らかいものにし、腕の負担を軽減させる。消しゴムは落としても支障ないように2個ほど用意しておくなどアドバイスが有りました。

ネイチャークラフト実習では、小刀や電動ドリルを使ってクロモジの小枝で「合格鉛筆」「鉛筆ブローチ」を作りました。小刀や鋸などの刃物を使う時は正しい持ち方や安全な使い方を理解して、子供たちを指導できることが大事です。また作業手順も大事な要素です。削ってから短く切る作業手順を、短く切ってから削る作業手順にすると大変な労力と時間が要ります。今回体験したことを今後活かして下さい。

今回初となる2つのネイチャークラフトを簡単に紹介すると、

- ①グルーガンを使いホットボンドで「木の実ブローチ」作り。先端部が高温、余熱などでやけどに注意して安全に使用しましょう。また、即接着のメリット、接着力が弱いデメリット対策として、ホワイトボンドで補強することも一工夫です。
- ②「ウリ科」アルソミトラと、ニワウルシを「たねの模型」として作成。高発泡ポリエチレンシートと、三角クリップ、ホログラムシール片などで作り、タネの飛行(流れ)を楽しく確認していました。注意する点は、飛ばす場所は十分広く、危険物がないところを選ぶことです。

午後は、引き続きクラフト実習とロープワーク実習、公園内の広場で野外ゲーム実習を行いました。ロープワークは、用途に合わせた結びの練習を行いました。野外では、講師の田川さんの指導でアイスブレーキングからエピローグまで、野外ゲームの流れにそって「後だしじゃんけん」「ノーズ」「私は誰でしょう」「動物交差点」「カモフラージュ」「フェールドビンゴ」まで色々なネイチャーゲームを体験しました。

アイスブレーキングの目的は初めて顔を合わせる参加者の心を解きほぐすこと、ゲームは参加者だけでなくリーダーと一緒に楽しめること、大人も子供も楽しめること、参加者の人数や年齢によってプログラムを組み立てることが大事など、野外ゲームを行う上での注意点の説明がありました。

テキストの内容を理解しながら、野外へ飛び出し実際に体験、ネイチャークラフトの実習は、試験対策・今後の活動に活かされることと思います。

参加者：(会員) 氏家さん、栗崎さん、関口さん、高田さん、高橋さん、山本さん、(一般) 長谷川さん

講師：田川 裕則さん

スタッフ：芝原〔写真・報告〕、古谷さん、横井さん、楨田(事務局)

(報告：FIT友の会運営スタッフ 芝原 久)





講義：座席の間隔を空けて



講師アドバイス：鉛筆は多めに準備する



実習：小刀と電動ドリルを使って「合格鉛筆」作り



実習：ロープワーク「ロープを繋ぐ本結び」



実習：アイスブレーキング「後出しじゃんけん」



実習：「私は誰でしょう」



実習：「カモフラージュ」12個見つけました



実習：「フィールドビンゴ」ビンゴ1つ?!